

公衆衛生医師の育成・確保のための
環境整備評価委員会報告書(案)
概要

1

公衆衛生医師の配置状況

保健所数¹⁾: 536
都道府県396、指定都市73、中核市37、保健所政令市7、特別区23

兼任保健所長数²⁾: 29人(17自治体)

公衆衛生医師数³⁾: 1,164人
うち:保健所医師(所長含む): 924人
本庁医師: 240人

1)平成18年10月1日現在

2)平成18年 9月1日現在

3)平成16年10月 現在

2

I 本報告書の趣旨

- ▶ 公衆衛生医師の育成・確保のための環境整備状況評価票等による調査を実施
- ▶ 各委員から公衆衛生医師の育成・確保の推進の参考事例を収集
- ▶ 調査結果等を踏まえ、公衆衛生医師の育成・確保について多角的に検討し、今後の課題を抽出

3

II 調査

1 「公衆衛生医師の育成・確保のための環境整備に関するチェックシートによる調査」

平成16年度公衆衛生医師の育成・確保のための環境整備に関する検討会によって環境整備状況を確認するためのチェックシートを作成
平成17、18年度の2か年にわたって全保健所設置地方公共団体を対象にチェックシートを用いた調査を実施

〔結果〕

ジョブローテーションの観点からの人材育成実施	都道府県60/55%、市区13/6%
公衆衛生医師の計画的な採用の実施率	都道府県30/32%、市区5/4%
卒後臨床研修医への研修受け入れ率	全国76/91%

(数値は平成17年度/平成18年度)

2か年のチェックシート記入評価では明らかな改善は見られず、育成方策の改善に直ちにはつながっていないのではないか
設置主体の類型によって育成・確保体制に違いがあるのではないか

4

II 調査

2 「公衆衛生医師のキャリアパスに関するアンケート調査」

医師の配置や業務等を保健所設置地方公共団体を対象に電子メールにて調査

〔結果〕

都道府県では ー本庁勤務医師がいるのは93%

ー議会答弁をする保健所長はいない

市区では ー本庁勤務医師がいるのは38%

ー議会答弁を恒常的に実施する保健所長は55%

県型保健所と政令市型保健所で、所長の担う役割が異なっているのではないか。

医師が主管部局長の場合 ー保健所医師数(人口10万人当たり) 1.17人

ー医師募集実施38%

医師以外が主管部局長の場合 ー保健所医師数(人口10万人当たり) 0.77人

ー医師募集実施27%

主管部局長によって採用配置に差があるのではないか。

5

III 課題の抽出

1 公衆衛生活動の普及啓発について

医学生に向けて:

- ー 効果的な保健所実習事例の情報を共有することが必要
- ー 保健所医師が直接活動事例を学生に紹介することも必要
- ー 都道府県本庁や市役所における実習なども検討することが必要

臨床医に向けて:

- ー 保健所の活動内容を事例を含めて紹介し、公衆衛生行政に関する認識を普及させることが必要

一般住民に向けて:

- ー さまざまな媒体・機会を通して直接保健所の役割を知らせることが重要
- ー たとえば「保健所の日」を定めて一斉に広報するなど具体的な行動が重要

6

Ⅲ 課題の抽出

2 公衆衛生医師確保について

公衆衛生医師の最大の供給源は臨床分野



新卒医師(前期研修中)に対して

卒後臨床研修の中で公衆衛生活動の魅力伝える

既卒医師に対して

臨床現場や医療政策等において活躍している公衆衛生医師像を提示する
公衆衛生医師確保推進登録事業の有効活用

などの活動が必要

7

Ⅲ 課題の抽出

3 現任公衆衛生医師の資質向上のために

地方公共団体内でのキャリアパスの工夫を進める必要

-参考となるような好事例の紹介

地方公共団体間の人事交流を促進する必要

-具体的な調整例の紹介

現任研修プログラムを整理・統合した上で受講促進を図る必要

8

IV 課題解決の方策事例

1 公衆衛生活動の普及啓発について

一般住民への普及啓発の例

- 保健所活動をテレビ番組で紹介された事例[福岡県遠賀保健所]

9

IV 課題解決の方策事例

2 公衆衛生医師確保について

新卒医師に対して

新医師臨床研修のなかで

研修受け入れ保健所に対して

- 全国保健所長会の取組:指導医養成ワークショップ開催や保健所で研修を受けた研修医への調査の実施

直接前期研修医に対して

- 国立保健医療科学院の取組:3ヶ月臨床研修プログラム

既卒医師に対して-臨床につながる保健所活動の紹介

保健所の地域の医療機能の調整事例

- 在宅ホスピスケアへの取組 [宮城県仙南保健所]
- 夜間小児救急体制確保 [愛知県岡崎市保健所]

10

IV 課題解決の方策事例

3 現任公衆衛生医師の資質向上のために

地方公共団体内のジョブローテーションでキャリアアップを図っている事例
-医師の経験に合わせて保健所と本庁での人事異動を繰り返しながら
管理職としてキャリアアップしていくというジョブローテーションが採られて
いる [大阪府]

11

V 今後に向けて

- 公衆衛生医師の地域医療体制の構築における活動事例、効果的な卒前・卒後保健所実習のプログラム等の収集提供
- 人事交流の進め方について情報の共有
- 公衆衛生医師確保推進登録事業の効果的な運用
- 県型保健所、政令市型保健所の種別によって公衆衛生医師の育成・確保の対応を検討する必要

12